

| | | | | | | | |
|-----|---------------|-----|------|---------------------------|----|-----|---|
| 教科名 | 理科 | 科目名 | 生物基礎 | 学年 | 1年 | 単位数 | 2 |
| 教科書 | 新編 生物基礎(東京書籍) | | 副教材 | リード Light ノート 生物基礎 (数研出版) | | | |

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する事を目指す。

2 学習について

①予習・復習の方法

予習：单元ごとの教科書の内容を読み、自分の分からない所をチェックしておく。

復習：生物の用語を覚えるだけでなく、相互作用などの繋がりを理解するようにしておく。

②授業における学習方法

授業プリントを活用し、授業の内容だけでなく先生がしゃべった内容で大切なことや関連する事柄をメモしておき、自分が見直したときに分かり易いプリントを作成するように心がける。また、科学的事象にはかならず原因や理由がある。「なぜ」そうなるのかを常に考え、自分の言葉で説明できるようにしておく。

③家庭学習のポイント

宿題は、出された当日に必ず自分の力でやる。また授業で扱ったプリントを見直すだけでなく、授業の内容に準ずる範囲の問題集を自分で解き直し、内容の理解を深める。さらに各自でスタディサプリを積極的に活用する。

3 学習計画

| 考査 | | 单元名 (学習項目) | 学習内容 (ねらい) |
|----|----------|------------------------------------|--|
| 前期 | 前期 中間 | ・生物の多様性と共通性 ・生物とエネルギー | ・生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。 ・光合成や呼吸などの代謝と ATP を関連付けて理解する。 |
| | 前期 期末 | ・遺伝情報と DNA ・遺伝情報とタンパク質の合成 | ・塩基の相補性と DNA の複製を関連付けて理解する。 ・DNA の塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見出して理解する。 |
| 後期 | 後期 中間 | ・ヒトの体を調節するしくみ ・免疫のはたらき | ・情報の伝達や体内環境の維持の仕組みを理解する。 ・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機能が備わっている事を見出して理解する。 |
| | 学年 末 | ・植生と遷移 ・生態系と生物の多様性 ・生物基礎と私たち | ・植生の遷移の原因を見出して理解する。 ・生態系における生物の種多様性を見出して理解する。 ・生態系における生物の多様性及び生物の環境との関係性を見出して表現する。 |

4 観点別評価

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--------------------------------------|--|
| 生物の多様性と生物の環境との関連性を学び、生態系の保全の重要性を認識する事が出来る。 | 生物の多様性と生態系について、観察・実験などを通して探求する態度を養う。 | 学習内容の特質に応じて、問題を見出すための仮設や実験の計画、検証・調査を行う態度を養う。 |

5 評価方法

計70時間(50分授業)

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、宿題などの提出された課題、グループによる実験・観察などの探究的な活動における貢献度を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…40% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…30%